

令和3年度採用・転入教職員 12 名に辞令交付

4月2日（金）、役場2階第1会議室において教職員辞令交付式が行われました。例年であれば、人事異動や採用により新たに厚沢部町に勤務する全ての学校職員に辞令が渡されるのですが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、管理職（校長）2名だけの交付となりました。

当日は、鈴木教育長から辞令が渡され、交付後、渋田町長から歓迎と激励の挨拶が転入者へ贈られました。

町長の挨拶の後、館小学校の佐藤校長より『町づくりは人づくり』を掲げる町のため、たくましい人材を育むとともに、個別最適で協働な学びを保障し、誰一人取り残すことのないよう強い使命感をもち、信頼される学校づくりに力を尽くしたい」と、転入者を代表して挨拶されました。

式場に来られなかった転入・採用教職員の辞令書は、各校において学校長から渡されました。令和3年度は、新採用者3名と転入教職員9名が町内各校に着任しました。



小学校35人以下学級 ～令和7年度までに～

国は令和7年度までに、段階的に小学校の全学年で少人数学級の導入を計画しています。

右記の学級編成の変遷にあるように、この度の法改正はおよそ40年ぶりになります。子供の頃を思い出した時に、密どころか過密だった小学校時代という方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。

さて、法改正は、子供たちの多様化の一層の進展や、新型コロナウイルス感染症の発生等、安全・安心な教育環境の下、ICT等を活用した個別最適な学びと協働的な学びを実現するために、学級編成の人数を35人に引き下げ、一人ひとりのニーズに応じたきめ細かな指導の整備を図るためです。

令和3年度、町内小学校の一番多い学年の児童でも20人程であり、法改正の目指すところのきめ細かな指導に、各校これまでも取り組んできたところです。

学級編成	年 代
50人	昭和34～38年
45人	昭和39～53年
40人	昭和55年～

※ 北海道では、道独自に平成23年より小学校1年生の学級は、35人以下としています。